

データ利活用を通じた 未病産業創出・拡大への期待について

2025年6月5日(木)
神奈川産業振興センター 多目的ホール

神奈川県立保健福祉大学
ヘルスイノベーション研究科
渡邊 亮

渡邊 亮（わたなべ・りょう）, Ph.D., M.P.H.

神奈川県立保健福祉大学

- ヘルスイノベーション研究科 教授
- イノベーション政策研究センター 副センター長



経歴

- ・元病院コンサルティング・ファーム コンサルタント
- ・オハイオ大学健康人間学部 病院管理学専攻 卒業
- ・東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 修了 (M.P.H.)
- ・一橋大学大学院商学研究科 会計・金融専攻 修了 (Ph.D.)
- ・東京医科大学、神奈川県庁などを経て2018年4月より本学に赴任

専門分野

- ・公衆衛生：医療情報を用いた疫学研究等
- ・医療経済：医療アクセスの公平性・医療情報を用いた医療経済分析等
- ・医療経営：医療の管理会計、医療マネジメント、バランスト・スコアカード等

ヘルスイノベーション研究科 (SHI)の教育研究の取組を活かし
政策立案支援や学術研究・社会実装を推進するシンクタンク

イノベーションの共創と社会実装

- 保健・医療・福祉に関する**根拠に基づいたヘルスイノベーション政策**の実現に向けた政策立案・支援
- 未病産業・ヘルスケア産業の活性化及び実社会の課題に対する学術的研究とのマッチングによる**イノベーションの社会実装の推進**

大学と社会とを結ぶ新たな回路

- アカデミア、企業、行政等の**ステークホルダーとの協働、関係機関との連携**のもと、領域横断的かつ革新的な研究活動を実施するとともに、社会が実際に活用可能な成果の創出を目指す。
- 行政と企業がともに活用可能なインフラストラクチャーを構築

01 政策研究

- 未病や自治体のデータを用いた政策研究事業
- 神奈川県との共同研究・受託研究事業
- 自主研究事業

02 政策立案支援

- 調査研究成果を活かした政策立案支援
- 政策提言

03 社会実装の推進

- 産官学連携の推進
- エクステンションプログラムの実施
- 国内外の関係機関との連携





School of
Health
Innovation

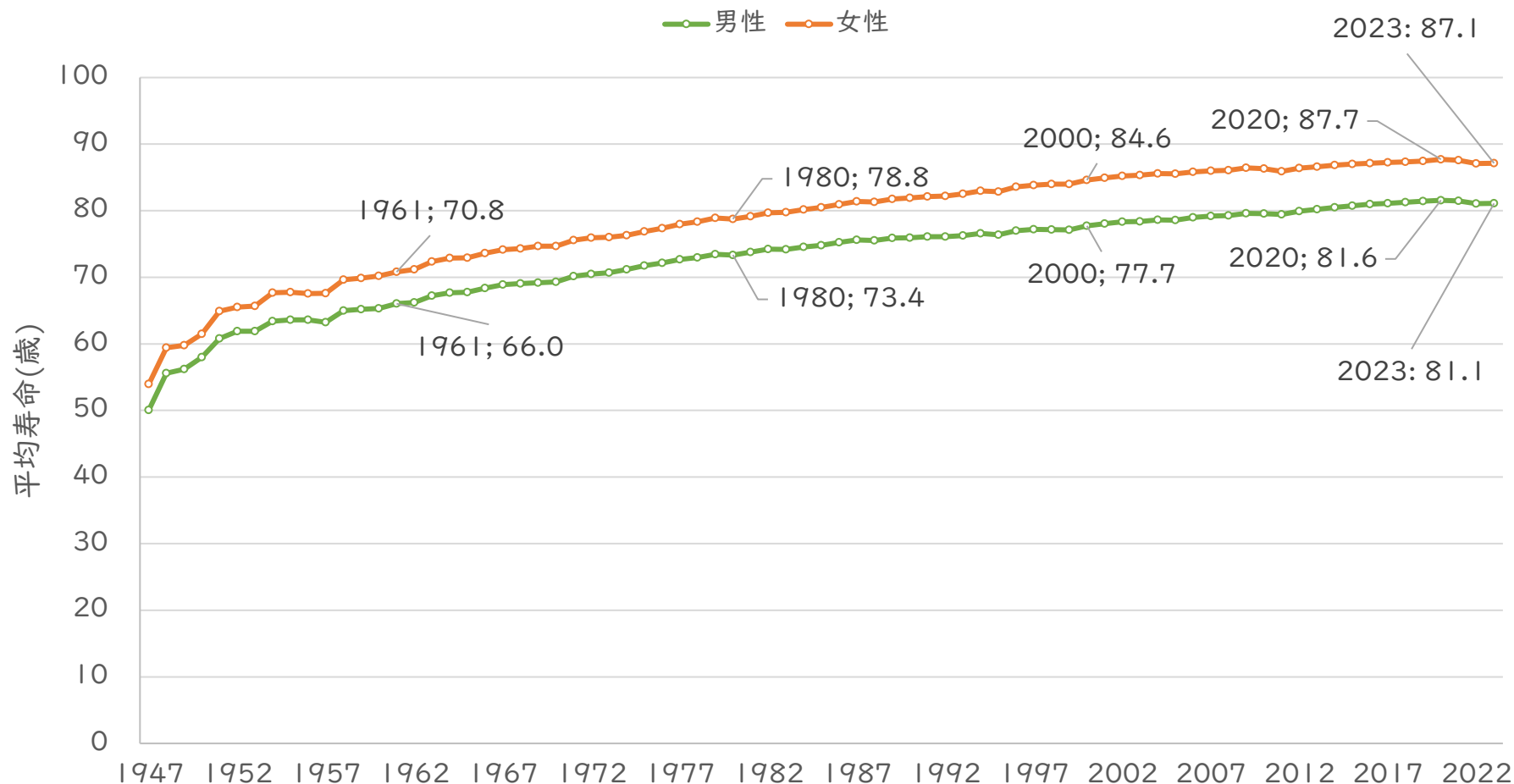


神奈川県立保健福祉大学

改めて未病対策の重要性

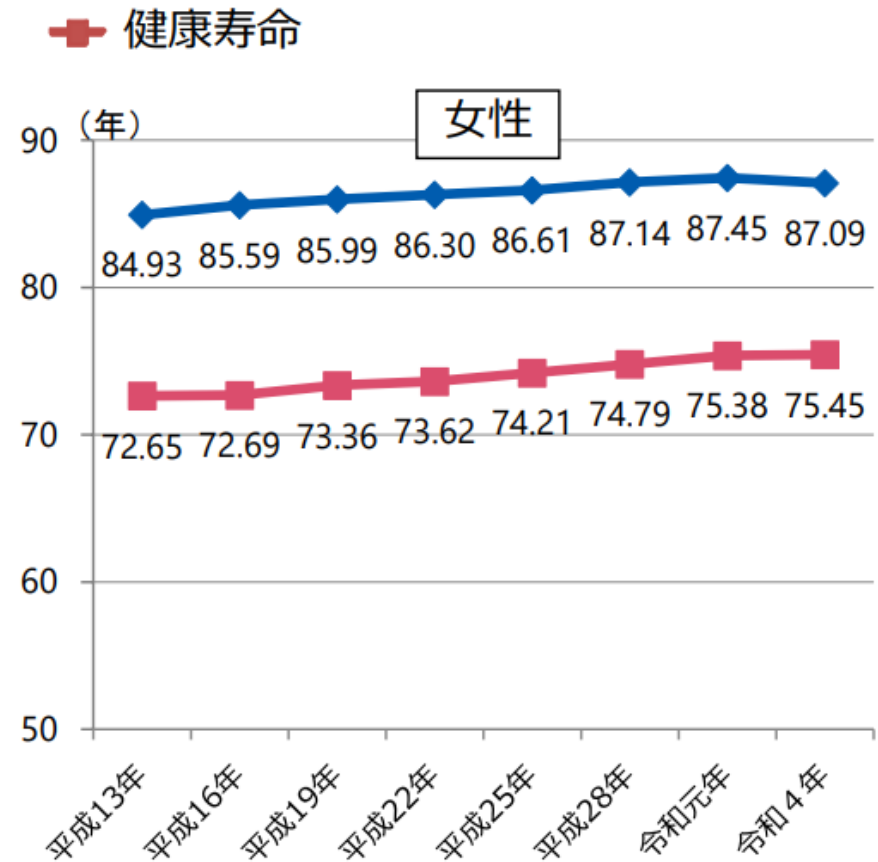
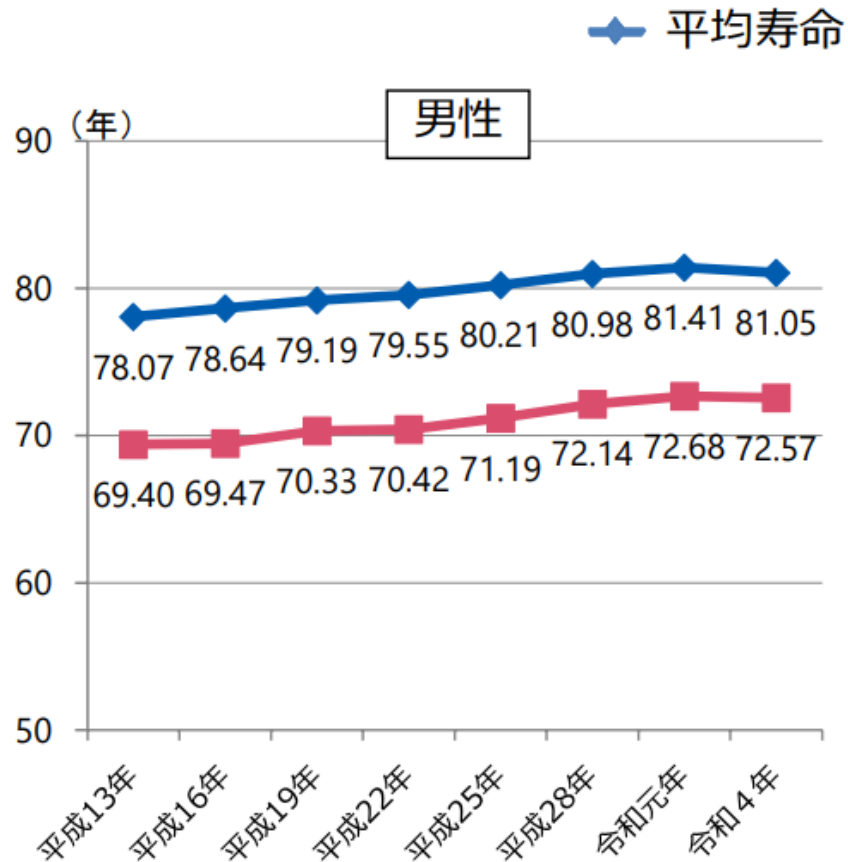
日本の平均寿命は延伸し続けてきた

平均寿命(0歳時平均余命)の推移



出典 厚生労働省(2024)「主な年齢の平均余命」『令和5年簡易生命表の概況』
Retrieved Sept 30, 2024 from <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life23/index.html>

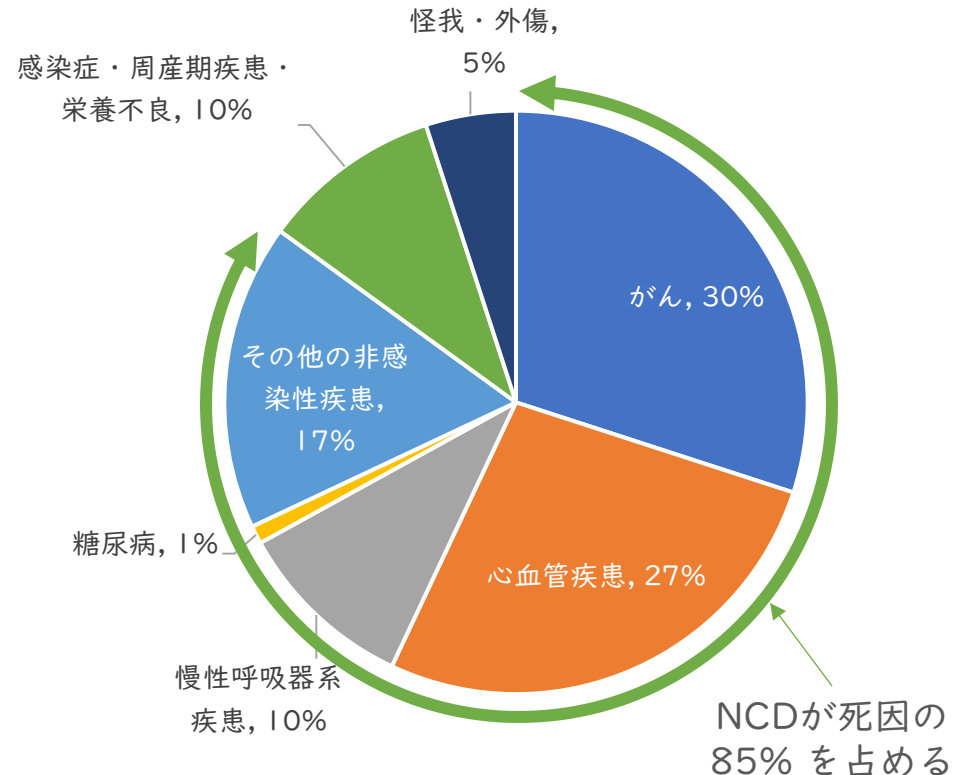
平均寿命と健康寿命の推移



厚生労働省. (2024). 「健康寿命の令和4年値について」『第4回 健康日本21（第三次）推進専門委員会 資料』
Retrieved April 20, 2025 from <https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001363069.pdf>

非感染性疾患

- 生活習慣や社会環境などを改善することで予防しうる慢性疾患
- NCDはがん・心疾患・脳血管疾患などが含まれ、最大の死因
- WHOによれば、世界における死因の73.6%をNCDが占め、日本においては85%を占める



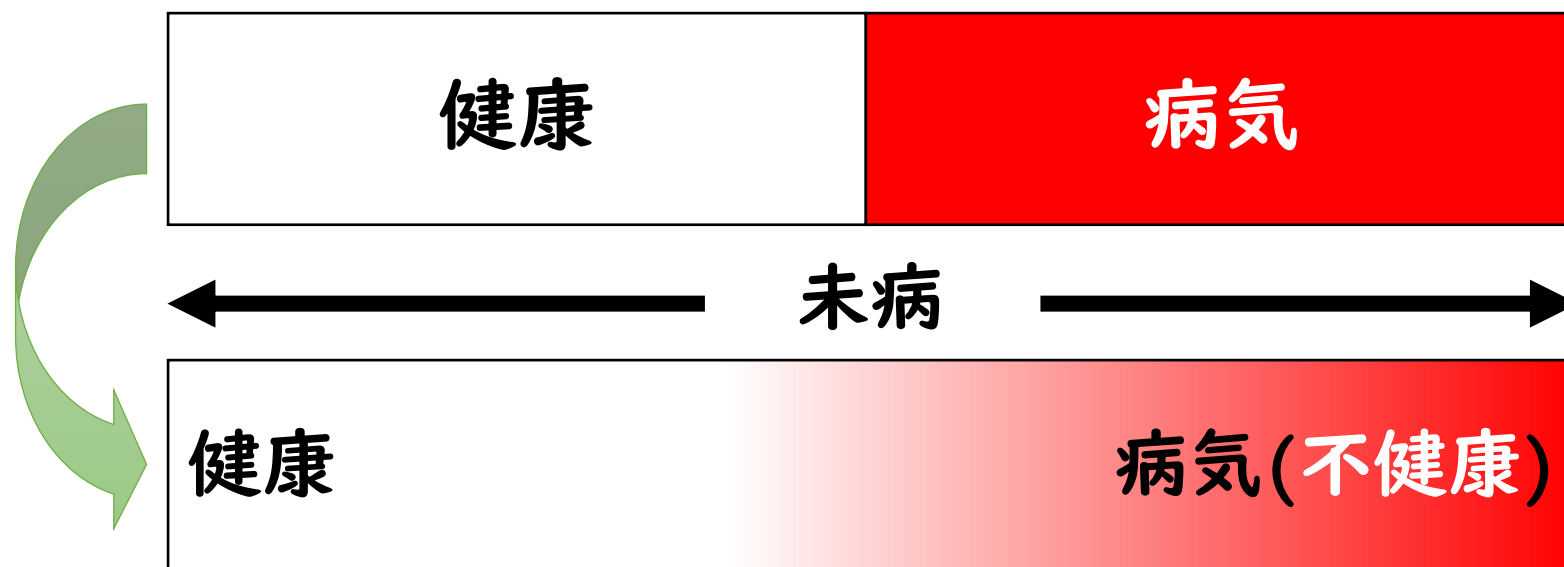
日本における死因割合 (2019)

Prepared by author based on World Health Organization (2020)

<https://ncdportal.org/CountryProfile/GHEI10/JPN>

未病とは

未病とは、健康と病気を二分法的に捉えるのではなく
心と体の状態が健康から病気へと**連続的に変化し続ける過程**を捉える概念であり
その**変化の全体のプロセスを概念化**したもの



健康な高齢化(Healthy Ageing)とは

高齢期においても幸福 (wellbeing) の実現を可能にするような、**機能的能力** (functional capacity) を発達させ維持するプロセス



機能的能力

- 人が自分の価値観や目標に沿った生活を送るために必要な能力
- 具体的には・・・
 - 自分で移動する
 - 人と交流する
 - 身の回りのことを自分でできる
 - 社会参加する
 - 意思決定をする

身体的・精神的な健康状態だけでなく
住環境や社会的支援などの環境要因にも大きく影響される



School of
Health
Innovation

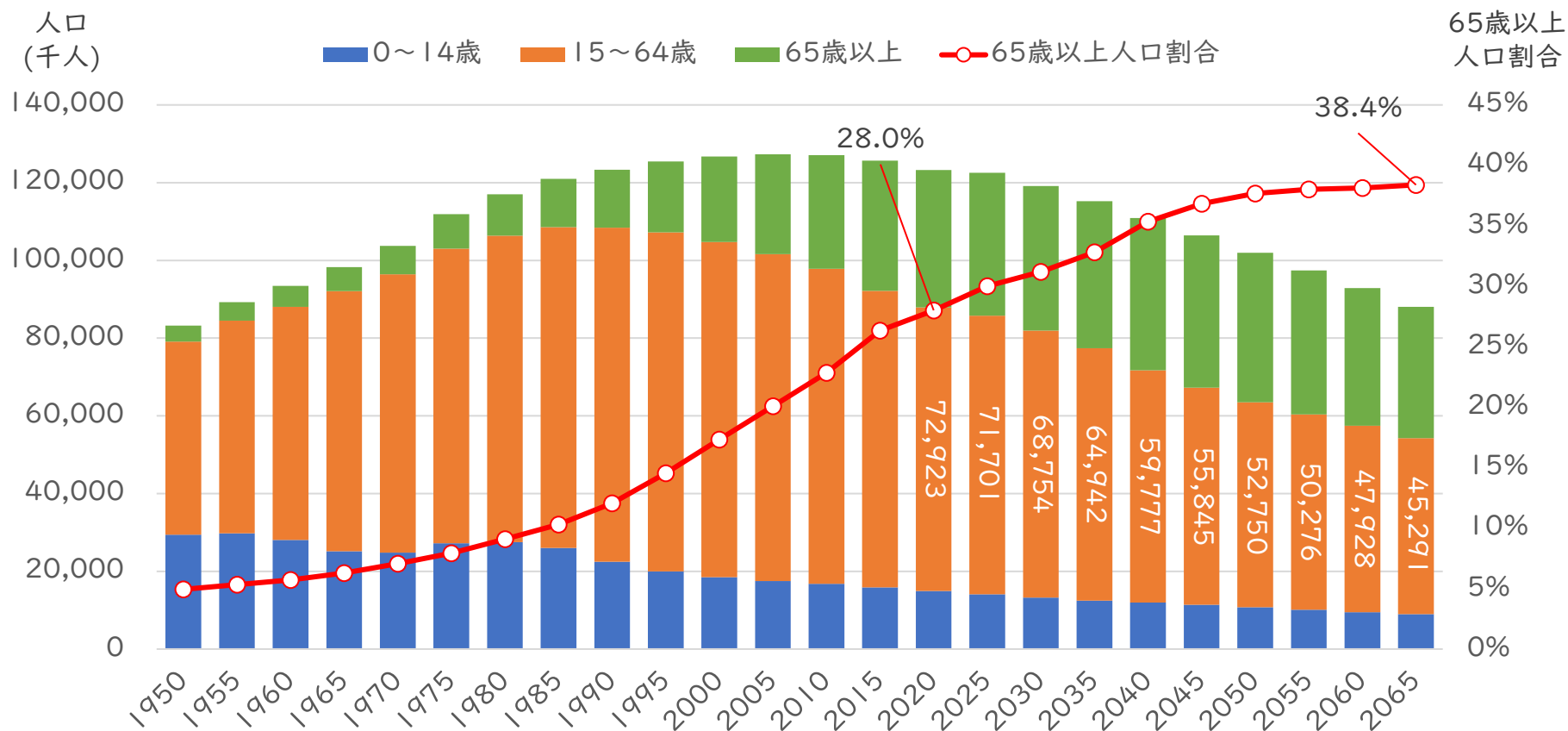


神奈川県立保健福祉大学

なぜ今「未病×データ」なのか

日本の人口と高齢化率の推移

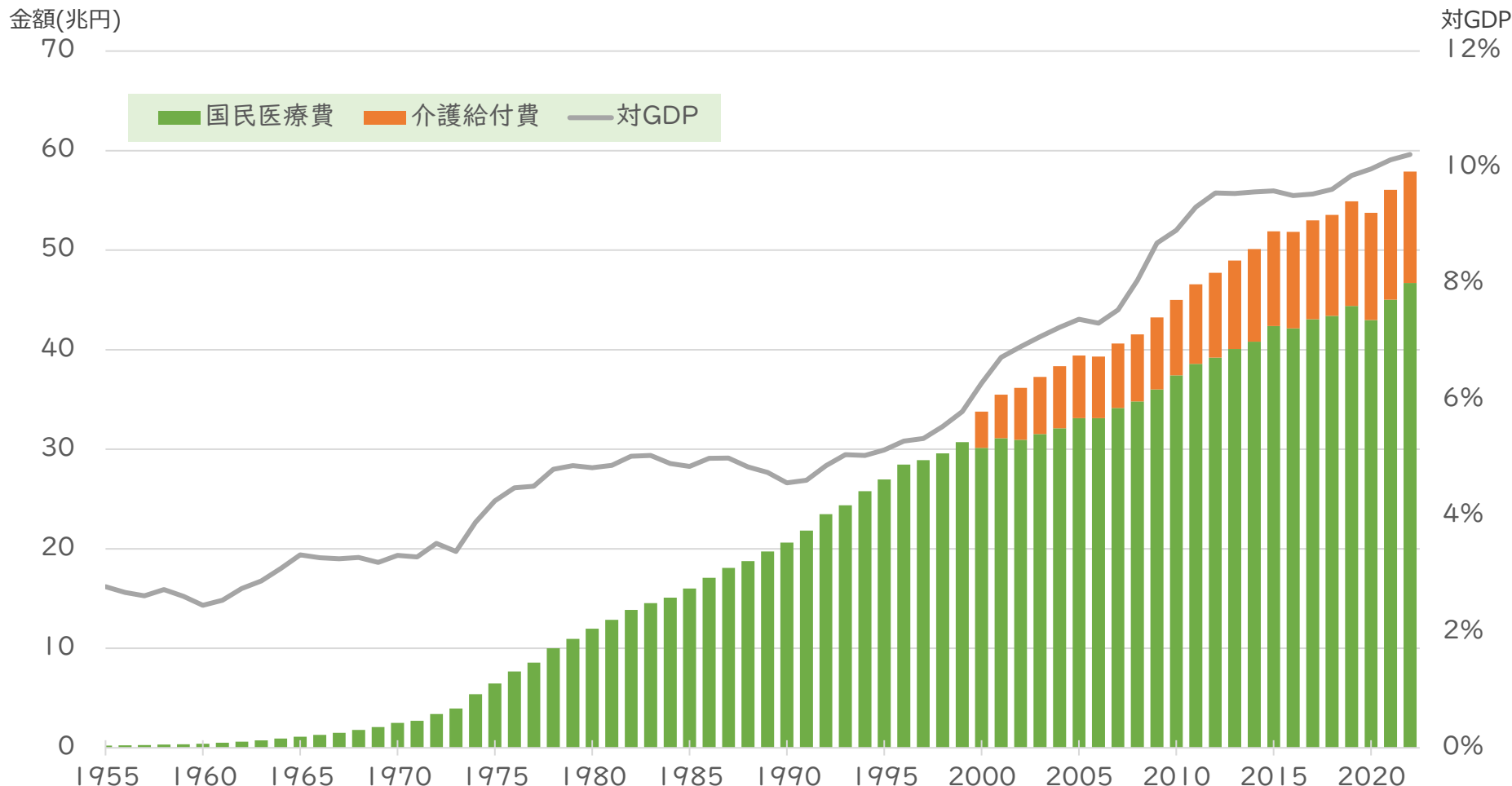
人口減少と高齢化率の上昇がこれからも進展の一方、生産年齢人口は減少



国立社会保障・人口問題研究所. (2022). 「表 2 - 5 年齢 (3 区分) 別人口および増加率: 1884 ~ 2020 年」『人口統計資料集』 Retrieved November 7, 2022 from <https://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/Popular2022.asp?chap=2>

医療費・介護費は年々増加している

国民医療費の推移 (FY1955-2021)

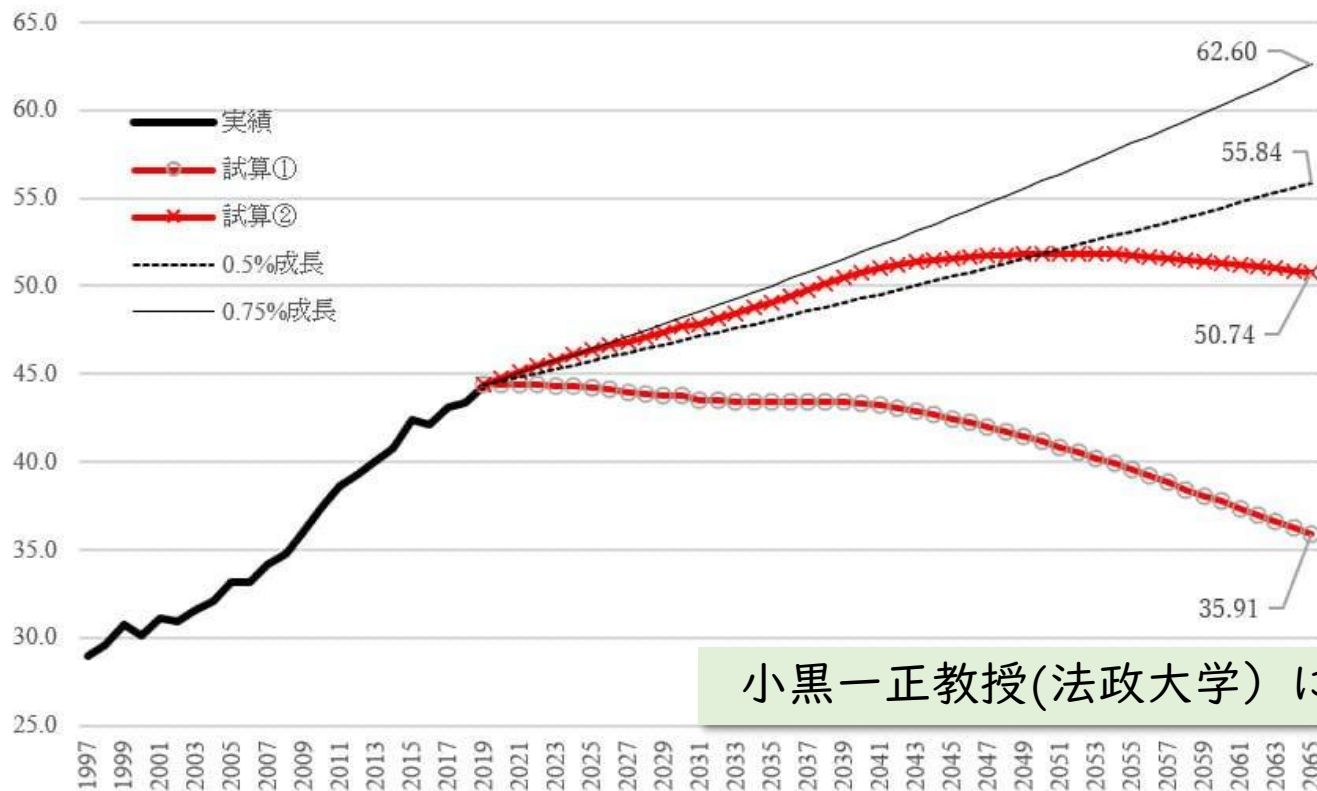


国民医療費: 厚生労働省(2024)「第1表 国民医療費・対国内総生産・対国民所得比率の年次推移」『令和3(2021)年度 国民医療費の概況』 Retrieved October 2, 2024 from <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/21/index.html>

介護給付費: 厚生労働省(2024)「統計表5 サービス別にみた年間累計受給者数、年間実受給者数、費用額累計」『令和4年度 介護給付費等実態統計の概況』 Retrieved May 20, 2024 from <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kaigo/kyufu/22/index.html>

日本の国民医療費の予測

医療費の予測は推計に拠るが2050年頃までは引き続き増加する可能性



小黒一正教授(法政大学) による推計

(出所)「令和元年度国民医療費」統計表および「日本の将来推計人口」(平成 29 年推計)

小黒一正. (2022). 「国民医療費、長期的に減少の可能性も一名目GDP成長率との調和も重要―」『Business Journal(2022年4月4日掲載)』 Retrieved November 8, 2022 from https://biz-journal.jp/2022/04/post_287421.html

健康・医療・介護を
既存の社会保障制度のみで
対応することには限界がある



費用モデルから**価値モデル**への転換が不可欠

健康・医療戦略（令和7年2月18日閣議決定）

- 健康・医療戦略では、健康長寿社会の形成に資する新産業創出を促進するため、**公的保険外のヘルスケア産業促進**について言及
- イノベーションの社会実装に向けて、**データ等を活用した予防・健康づくり**の健康増進効果等に関する実証を推進
- ヘルスケアデータを活用した民間サービスの創出**に向けて、民間事業者 団体やアカデミア等と連携しながら、基盤整備を推進



ヘルスケアデータの活用が【価値モデル】創出への武器となる

ヘルスケアデータの種類

略語	用語	意味
EMR	Electric Medical Records	- 医療機関内部で用いられる記録 - 単一医療機関で生成・管理・利用される - 患者によりアクセスされない
EHR	Electric Health Records	- 生涯にわたる医療記録 - 共有される医療文書からなる - 複数の医療機関からアクセスされる
PHR	Personal Health Records	- 患者の生涯にわたる健康記録 - 患者本人により管理される
ECR	Electric Case Records	- 特定の症例に関する医療記録 - 複数の医療機関からアクセスされる

Source: Waegemann, C.P. (1999). Medical Record Institute's survey of electric health record trend and usage. *Toward an Electronic Health Record Europe* '99: 1478-158.

黒田知宏(2012)『医療情報システム』オーム社.

公的データ

- 公的医療保険・介護保険データ、健診データ、予防接種データなど
- 一般に、悉皆(網羅)性が高く、継続的に取得されることや、比較的データの品質が高い
- (特に民間の場合)データ利用のハードルが高く、データ取得に時間がかかる

民間・個人の保有するデータ

- 民間PHRデータ、企業健診データ、ウェアラブルデバイス、遺伝子データ、POSデータなど
- 個別性や即時性が高く、データの保有者は二次利用が相対的に容易
- 取得データに偏りや欠損が多くなる傾向があり、解釈が困難なこと、他データとの連結が難しい点が課題



School of
Health
Innovation



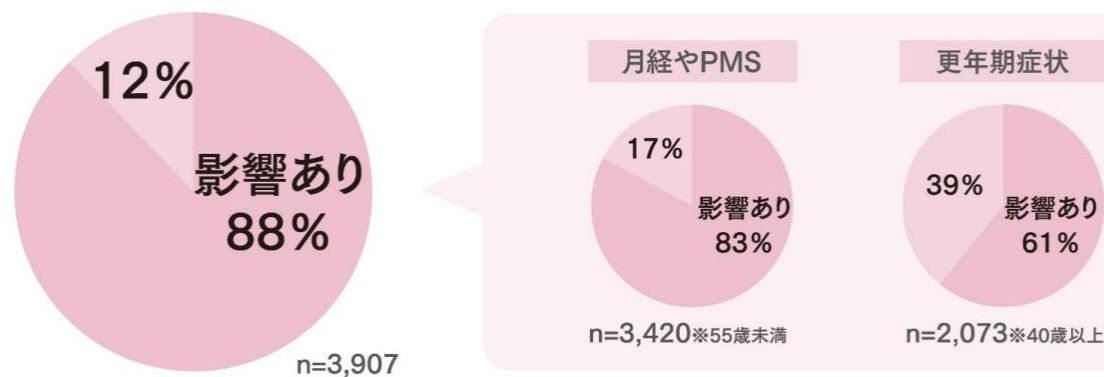
神奈川県立保健福祉大学

本学における 「未病×データ」の取り組み事例

三菱地所×ファムメディコ×神奈川県立保健福祉大学

疫学調査をベースとしたアンケートをもとに
女性特有の健康課題を”見える化”する産学医連携プロジェクトとして
4年間でのべ約1万2千人を対象として調査を実施

月経やPMS、更年期症状などの女性特有の症状によって
仕事に影響がある人が88%いるという結果が出ています。



まるのうち保健室. (2025). 『働く女性 健康スコア2024』 Retrieved May 28, 2025
from <https://shokumaru.jp/wp/wp-content/uploads/2024/03/report2024.pdf>

女性特有の症状改善により企業の生産性向上に資する可能性が明らかに

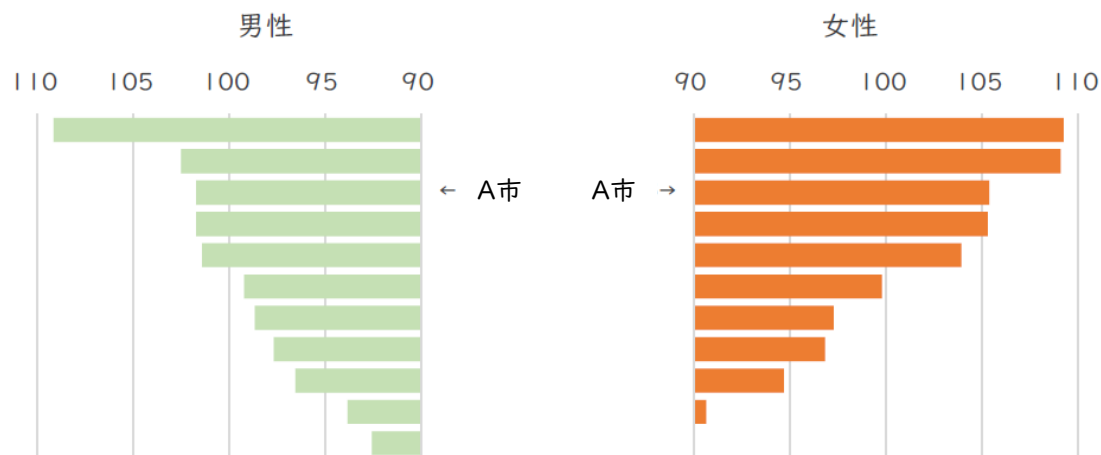
糖尿病重症化予防に関する地域別分析

4. 糖尿病の三次予防に関する項目（続き）

糖尿病の罹患状況（続き）

5. 糖尿病有病者のうちその他の合併症（心疾患・脳血管疾患*）あり

	A市	標準化比
男性	41.3%	101.7
女性	32.3%	105.4



■ 値が低い方が望ましい
糖尿病により血管の動脈硬化が進むことで、脳血管や心血管の疾患のリスクが高まることが知られています。

データ利活用における課題

データ利活用に向けた5つの課題

- データ連携と標準化
- プライバシー・本人同意の確保
- エビデンスの蓄積と介入効果の可視化
- 持続可能なビジネスモデル
- 法制度の整備



未病産業創出・拡大に向けたデータ利活用には
企業と、行政・アカデミアとの協働が不可欠

渡邊 亮

r.watanabe-f4s@kuhs.ac.jp